

磐城民政新聞

日ノ五(回三月毎)日行發
通政古金 轉編行發
人刷印衆
地番五十四町田町事部長
社開新政民城磐 所行發
錢十三月ヶ一錢拾價定紙本
増錢十定指錢十五行一料告廣

良品廉賣
確實效接
の全屋
福島縣平町
南長九番

衆望を失つた政派の 斷末魔的狂態

アテ馬候補の亂立を計り

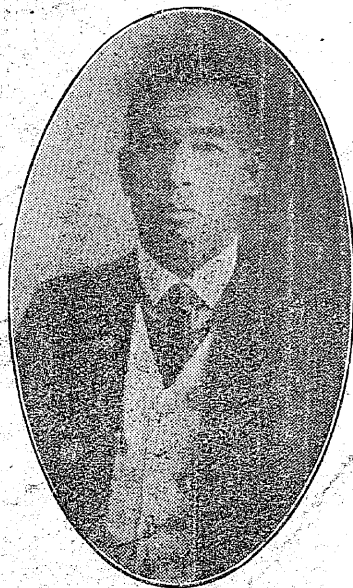
民黨候補の妨害を策す

多年自黨本位の小選挙區制を敷き、金權の力に依りカロウジテ民心の離反を防止せる石城政友派は選挙法改制の爲め、政派一の選挙武器とも稱すべき買収を爲すことを得ず加ふるに選挙區制撤改の結果、從來の如く四名の縣議を選出することの不可能なることをさとり民政黨の領袖、野崎滿藏を介し、政四、民二の比率を以つて候補者數の協調をなし、新興二萬有余

の有權者をゴマカシ以つて縣會に於ける舊勢力の維持を計りし一蹴され止むなく、鈴木辰三郎、古川傳一、山崎吉平、井上茂作の四名を公認し、表面をスクロイたるも、澎湃たる新興勢力のダイ頭を目前せる政派幹部は尋常に戦いては到底勝算なきを以つて、吉野周太郎の腰巾着と稱さる、田子健吉の野心を巧くみに利用なし表面、中立を表はうせしめ、郡北山の手

に割込ませ、實父田子英吉を「オトリ」に使ひ質朴なる北部一帯の選挙民を偽らし、民黨候補、若松美三の投票を浸さしむると共に、一方石城政友派の一大敵國たる、野崎滿藏の當選を極力妨害すべく、磐城炭礦會社員、青沼鋒太郎を無理矢理に納得させ、無産政黨に對立する、資本家代表なる美名のもとに、五大炭礦の協同應援を策し、民黨候補、野崎滿藏の地盤を蠶食せしむるなど、外は衆望を失ひ、内は買収の武器を失いたる石城政友派はアテ馬候補の亂立を計り、民黨三候補の妨害を策せしが、反つて今日に至りては田子、青沼兩名のために自ハ候補の地盤をオガされるが如き状態にシテ狼狽を極めて居る

野崎滿藏君



推薦狀

私は意義ある今回の縣會議員選挙に際し本郡普選の先驅者たる野崎滿藏氏を最適人者として推挙諸君の熱烈なる御援助を以て是非も當選普選議會に本郡より選出せしめたいと祈禱して止まないものであります申す迄もなく普選は吾黨多年唱導の結晶で河野磐洲翁の如きは終始身命を賭して達成に努力せられたことは公知の事實であり今回の選挙はその第一回縣議戦として政界革新の實を揚げ先輩の諸靈を慰むるに於て重大なる意義を有するものにつき諸君の尊き一票は情實を排し識見力量卓越せる野崎滿藏君に御投票あらんことを切望します

代議士 比佐昌平

